

8/27

山北の魅力を活かした映画づくりを体感 交流の館 八幡 ほか

▶本格的な映画撮影に取り組む子どもたち



山北地区まちづくり協議会主催の「さんぽく子ども映画塾2016」が、地区の小学生15人が参加して開催されました。

映画づくりの基本から脚本づくり、撮影まで「市民団体にいがた映画塾」の皆さんと共に実施。子どもたちは休憩時間にセリフの練習や、動きを確認するなど熱心に取り組んでいました。

今後、撮影された3本の短編映画は各1分程度に編集され、山北地区で披露される予定です。

8/28

親子で仲良くペンキ塗り 村上小学校

村上小学校の外周木製フェンスのペンキ塗り活動が行われました。同小学校のPTA組織の「おやじの会」が主催したもので、PTAの親子や地域住民約70人が活動に参加しました。

ペンキ塗り終了後には、村上地域まちづくり協議会から「流しそうめん」が振る舞われ、約8キログラムのそうめんを完食しました。



◀丁寧にペンキを塗る親子

8/21

ホタル舞う里を後世に！ 金屋・中野集落

▶ホタルの幼虫を放流する参加者



地域住民約30人が参加し、中野水辺公園と旧烏川（金屋・大雄寺付近）にそれぞれ約200匹のヘイケボタルの幼虫を放流しました。

これは、市で取り組んでいる「荒川総合運動公園ホタルの里づくり実験事業」の一環として行ったものです。各集落では今後、ホタルのエサとなるカワニナ（巻貝）の給餌や雑木処理など、生息環境の整備に取り組んでいく予定です。

8/28

祝「米坂線全線開通80周年！」 JR坂町駅



◀横断幕で乗客を歓迎

米坂線全線開通80周年を記念して、坂町駅のホームでは旧国鉄OBらが横断幕を掲げ、記念列車「快速べにばな号」を歓迎。乗客約200人に、荒川地区特産のクロッカス球根やラベンダー石けんが配られました。

また、地域住民約80人が参加し、住宅街や踏切から笑顔で手を振るイベントも行われ、乗客は立ち上がって手を振り返したり、歓声をあげるなど、車内は祝賀ムードに包まれました。

9/9

地域の子どもは地域で育てる 朝日みどりの里

▶意見をまとめた大きな花を製作



朝日地区郷育（きょういく）会議が開催され、27人が参加しました。郷育会議とは中学校区ごとに保護者、教職員、地域の関係者などで構成され、「地域の子どもを地域のみんで育てる」ための話し合いを行うものです。

ワークショップでは、グループに分かれ「育てたい朝日の子ども像」をテーマに、それぞれの思いを出し合い、意見を共有しました。郷育会議では話し合いのほか、ネットワークを生かしてさまざまな催し、取り組みを行っていきます。

9/4

すばらしき古道は時を越えて 大沢集落（出羽街道）

▶掘り起こした大きな石を2人で運搬



「日本の歩きたくなる道500選」にも選ばれている「出羽街道大沢峠」の石畳の修復活動は、今回で8回目。これまで約400枚の敷石を手作業で敷き並べてきました。今年は石畳の風情をより再現しようと、埋もれた石を掘り返して敷き並べました。参加した近隣集落の皆さんは、「昔の材料でそのまま石畳を再現するのも味があっていいね。みんなで長く無理なく修復していこうよ」と地域の宝を守ろうと気持ちを確かめ合いました。

9/9
~11

首都圏へ「ふるさと納税」をPR ブリッジにいがた（東京都中央区日本橋）

▶村上市の特産品に興味津々の来場者



ふるさと村上応援寄附金（ふるさと納税）を首都圏の人に周知を図るため、お礼品の鮭製品、岩船産コシヒカリ、笹団子などを販売するふるさと納税フェアを開催しました。3日間で5,600人を超える来場があり、多くの商品が閉店前に完売するなど大盛況の物産展となりました。

9/11

環境整備と歴史の伝承がすすむ 桃川集落

▶郷土資料館佐藤館長から多伎神社の歴史を聞く参加者



桃川集落を走る国道290号脇の周辺整備が完了し、このたびお披露目会が開かれました。整備に合わせて、集落に伝わる多伎神社（通称：おたきさま）の看板設置や展望場所も作られました。区長の尾方己酉（みづの）さんは、「立派に整備していただき、関係者に感謝したい。これからきれいに保ち続けることと、集落の歴史を伝えていくことを考えていきたい」と話していました。